

# 期母子医療センター (CU) が再開しました



## 新生児集中治療室の概要

ところ 日立総合病院 2号棟 4階  
(小児科病棟に隣接)

病床数 3床



念願の日立総合病院地域周産期母子医療センターの再開を心からお喜び申し上げます。

平成21年4月の休止以降、12年ぶりの再開となり、この間の再開に向けた関係各位の御努力と御尽力に深く感謝を申し上げます。

人口減少が続いている本市では、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めているところであり、この度、市民に身近な日立総合病院において、24時間体制で赤ちゃんに高度な医療を提供することができる新生児集中治療室(NICU)が整備され、新生児の搬送受け入れが可能な体制が整ったことは、周産期医療体制の充実に向けた前進であり、大変嬉しく思うと同時に、未来に向けて明るい兆しが見えてきたものと感じています。

今後も、地域周産期母子医療センターの機能の更なる充実が図られ、妊娠、出産から新生児に至るま

で幅広く切れ目のない高度専門的な医療を提供できるようになることを期待しています。

本市では、市民の健康を守るため、茨城県、日立市医師会、市内医療機関などとの連携を図りながら、周産期医療体制などの地域医療の更なる充実に今後も努めてまいります。



日立市長  
小川 春樹

# 日立総合病院の地域周産 新生児集中治療室（NICU）

日立総合病院地域周産期母子医療センターは、平成21年4月以降、休止となっていましたが、このたび、小児科の診療体制や新生児集中治療室（NICU）が整備されたことにより、4月1日から新生児の搬送受入れに限定して再開しました。

市では、今後も引き続き、日立総合病院や茨城県などとの連携を図りながら、市内で安心・安全に出産できるよう、安定的な周産期医療体制の確保に努めていきます。



## 受入基準（新生児）

- 在胎週数 34 週以上
  - 出生体重 1,800 グラム以上
- \* 受入基準に合わない場合は、総合周産期母子医療センター（水戸済生会総合病院 または県立こども病院）を紹介します。



平成21年4月以降休止していた日立総合病院の地域周産期母子医療センターが、本年4月1日より、当面は新生児（\*産まれてきた赤ちゃんで在胎34週以上・出生体重1,800g以上）の受け入れに限りませんが、部分的にも再開できたことを大変嬉しく思っております。

例えば、センター休止の1年後には産婦人科医の派遣が始まって、当院でのお産を何とか再開することができましたが、地域医療における医師確保は困難を極めており、センターとしての再開は難しい状況でした。今回、小児科医の充実が図られ、新生児部門での受け入れができるようになります。茨城県や日立市、医師会や地域の医療機関のご支援があってこそのことだと思っており、この紙面をお借りしてあらためて厚く御礼申し上げます。

今後も関係機関との連携を図りながら、この地域

の妊産婦が安心して出産できる安全な環境を作っていけるよう、努力して参りたいと思いますので、地域のみなさまの御理解・御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



日立総合病院長  
渡辺 泰徳